

責任役員挨拶

嶋本 正雄



このたび、御縁をいただきまして引き続き箭弓稲荷神社の総代並びに責任役員として、お世話になることとなりました。固より未熟者ではございますが、誠心誠意つとめさせていただきますので、よろしくお願い致します。

私は地元東松山市で生まれ育って、箭弓町で家業に専念する傍ら、箭弓町々内会の活動を通して「やきゅうさま」の諸行事等に参加する中で多くの御縁をいただきました。東松山市では、年に一度「市民アンケート」を実施しております。その質問項目の一つに「東松山市が他に誇れ

る地域資源として何を思い浮かべますか」との問いに多くの市民が「箭弓稲荷神社」と回答しております。

このようなことから「やきゅうさま」は地域の人々の心の中にしっかりと根付いていることがうかがわれます。

今、新型コロナウイルスや、大規模な自然災害などで、日常生活が多難な状況下にあります。

こうした時だからこそ、私達は幾多の苦難を乗り越えてきたであろう先人達の知恵に学ぶと共に、神の恵みと祖先の思いに感謝する「神道のころ」を改めて思い起こすことが肝要なことかと思えます。

今をしっかりと受け止め、大切なことが次の世代へ確実につなげられるよう精進努力して参りたいと存じます。

皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げますと共に、箭弓稲荷神社のご加護のもと、皆様方の益々のご健勝を心からお祈り申し上げます。就任の挨拶と致します。

江野 邦夫



今般、箭弓稲荷神社総代責任役員を、お受け致すことになりました江野邦夫です。

役職の重大さを考えますと身の引き締まる思いであります。

私にとりまして、神様は身近な存在です。私の生まれは本町で、昔は商家だったことから、神様との関係は子供の頃から始まっていました。お店には大神宮様、庭の奥にはお稲荷様、別棟のお勝手には荒神様と家の何処へ行っても神様が祀られていたのです。

その様な環境の中におりました関係で、神様の存在は無意識のうちに、身近なものと感じるようになったものと思います。

箭弓様は、私の小学生時代

には、境内の広場でゴムボールで良く野球をしたことを、今でもよく思い出します。

お蔭様で人生八十年を超えた今、無事に過ごせたことの感謝を込めて、少しでも箭弓様のお役に立てればと、お引き受けすることに致しました。

今後は、皆様方のお力添えをいただきながら、箭弓様の更なる隆盛に微力ではありますすが努めて参る所存です。



総代就任奉告祭